



空間マルチオミクスによる 細胞運命制御の超高次元解析： 蛍光切断型抗体「PECAb」が開く 生命科学の新展開



1/19 MON
16:00-17:00

大川 恭行 先生

九州大学生体防御医学研究所 所長
トランスクリプトミクス分野 教授

新規空間オミクス技術「PECAb (Precise Emission Canceling Antibodies)」は、同一の組織切片上で数百種類以上のタンパク質発現を連続的かつ高精度にイメージングすることを実現した。シグナル伝達経路の可視化や組織微小環境の解析、さらには細胞老化や組織再生といった具体的な応用例を交えながら、本技術が切り拓く生命科学の新たなパラダイムについて議論したい。

参加方法

会場: 大阪大学・ニコンイメージングセンター(大阪大学医学系研究科 臨床研究棟 4階)
ご所属、お名前を記載の上、register@handai-nic.com宛にご連絡ください。

オンライン: ZOOMにて実施します。下記フォームよりお申込みください。
<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2025-12-10/2zltm>



お問い合わせ

株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部
Email: Nsl-bio.Marketing@nikon.com

オンライン参加
申込フォーム